

社会的な責任を果たすことが企業の役割

山梨県中央会から提案された組合のBCP(事業継続計画)講習会で、山梨県における地震等のリスクと被害想定、それらに伴う事業の中断リスクについて学びました。

その中で、従業員の安全と雇用を守り経営を維持するために、自社の基礎的な設備や能力の再確認とともに、災害時に事業継続が可能なのか、またどのような備えが必要なのか、についてあらかじめ整理しておく必要があると考え、BCPの策定をはじめたところです。

当社は、管工事業を営む会社です。市民の生活に無くてはならないライフラインの一つである水の供給と排水にかかわる事業を行っています。今後30年以内の地震発生確率が88%と高い「東海地震」ではマグニチュード8クラスの地震が想定され、当県においても断水率は5割、上下水道の復旧には一ヶ月間かかるとの想定がされています。

災害発生後の緊急時には、何を置いても地域の要請に応じて給排水設備の確保(仮設工事や復旧工事)をすることが当社の最重要業務であることを再認識しました。

現在、BCPの専門家や中央会担当者の方と共に重要業務を継続するための対策についてまとめています。その過程で、今まで見過ごしていた事柄の中にも重要な点がいくつもあり、BCP策定は、どのような業種・企業にとっても必要な取り組みであることが解りました。

自社のBCP策定後には、組合員への普及も兼ねて報告するとともに、非常時における組合員間での設備や人材、材料調達など連携の強化についても検討していきたいと考えています。

「地域の期待に応え、社会的な責任を果たすことが我々の役割」と痛感しました。

